

令和4年10月28日

futbol y vida

Poco a poco ...
Poco a poco ...



國學院久我山に真っ向勝負で現実を知る!!
football は奥が深い…。だから楽しい!!

國學院久我山高校にチャレンジするも現実を突きつけられ敗退!!

“東京都ベスト16”に満足せずに“地区トップリーク昇格”を目指す!!



<素晴らしい環境が整った中で最高の相手と真剣勝負ができる幸せを噛み締めて臨んだ!!>

10月16日(日)、選手権大会東京都予選二次トーナメント三回戦 VS 国学院久我山高校が、先週と同じく堀越学園高尾グラウンドで行われました。10月は天候が安定しない日が続き、トレーニングは行えましたが大切な公式戦前のコンディション調整や体調管理が難しく、また怪我人のサポートなど改めてスタッフ陣の手厚さには感謝です。また、今週も昭和第一学園や桜美林高校のグラウンド(本当にサッカー仲間たちには感謝です)をお借りして人工芝でのトレーニングを行うなど、現在、T1リーグでトップを走る国学院久我山高校相手に万全の準備をして挑みました。

この日の堀越会場は、久我山高校の選手権初登場ということで注目度も高く、両チーム関係の応援以外にも多くの観客が訪れていました。素晴らしい人工芝グラウンドで、多くの観客の見守る中、久我山のキックオフで始まりしました。立ち上がりから子どもたちは今まで体験したことのない久我山の選手たちの巧さや速さ、強さを兼ね備えるプレーに圧倒されます。このチームになって、主導権が握れずにボールを追いかけ、守備に回る時間がこれ程長くなったことはありません。それでも、前半18分までは、こちらの思惑通りに外へボールを運ばせ、エースでキャプテンの⑩のところはセンターバック二枚で抑え込むことができましたが、先制点を奪われるとここから初戦の緊張から解かれた久我山が堰を切ったように怒涛の攻撃を開始します。特に、ボールを奪われてから⑥・⑧の中盤二列目からの飛び出しにマークが掴めずに失点を重ねていきます。点差が離れても久我山の選手は手を緩めることなく片倉ゴールに襲い掛かります。敵ながら天晴れです。片倉も一矢を報いようと最後まで諦めずに久我山ゴールを目指しましたが、久我山の牙城は崩れずにこのままタイムアップ。10年ぶりの二次トーナメントは**ベスト16**で終了しました。

やはり國學院久我山高校は全てに於いて素晴らしいチームだった!! 全国大会出場を祈っています!!

片倉高校サッカー部が挑んだ2022年選手権大会は、10年ぶりの二次トーナメント進出を果たし、初戦の農大一高に延長の末勝利したものの数ランクも上の存在である国学院久我山高校の前に敗れましたが、東京都ベスト16という結果を残すことができました。今回の選手権大会の闘いを通して、三年間積み上げてきたことで通用した部分、まだまだ足りない部分を突きつけられ、それでも“K's football style”を信じて突き進んできた結果、全国区のサッカー強豪校であり素晴らしいサッカー哲学を持つ国学院久我山高校と公式戦で真剣勝負ができるところまで辿り着きました。いつもは、久我山の下の子の選手たちがTRMに来ていますが（感謝しています）、選手権では正真正銘のトップチームです。本当に、高校サッカー少年冥利に尽きます!!

長い間低迷を続けていた片倉サッカー部にとって、49期生の代が残したこの結果は新たな次のステージに繋がるもので今後の展望が大きく開けたように感じています。三年生は8人しか残っていませんが、彼らの功績はとて大きくそして誰よりも高校三年間で成長できたのではないのでしょうか? 「継続は力なり」と言いますが「継続すると力になる」ことを彼らは証明しました。

やはり、努力は報われるのです。サッカーの神様は彼らに微笑んでくれました。

2022 選手権予選二次トーナメント VS 国学院久我山 SNAP!!



<After the Game>

選手権大会は三回戦で終了しましたが、地区トップリーグ昇格に向けてユースリーグが今週末行われます。選手権を勝ち上がった関係で、10月末までのリーグ戦の日程が過密スケジュールとなり厳しいコンディションを強いられています。ここは毎週末のTRMやこの夏の武者修行の経験が生きてきます。特に、29日(土)の大成戦(現在8戦全勝中)は地区トップリーグ昇格を懸けたゲームであり絶対に負けられません!! こういう緊張感の中で真剣勝負ができる経験は努力を積み重ねてきたものしか味わえない最高の舞台です。勝負事なので絶対勝利が必要ですが、残り二戦に全てをぶつけられるようにいい準備をして臨みたいと思います。応援宜しくお願いします。